

月刊

2014 年

# キングラン

通信

9 月号



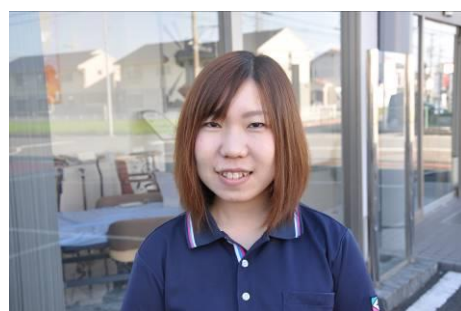
「チームワーク」に惹かれ、メンテナンスの仕事を志す。

紅一点でも物怖じしない。安定したサービスの松原。

病室にお伺いしてカーテン交換を行う当社の「メンテナンส์」スタッフ。この仕事を志望するメンバーの多くが「チームワークが大切になる仕事でしたくて」と言います。実際現場では複数のメンバーがお互いをフォローしながら各部屋で仕事をこなします。施設の情報、作業できない部屋の情報などは逐一お互いが共有し、現場で不備の無いよう努めます。今回はまさにこの「チームワーク」に惹かれ、入社した新人2名をご紹介します。



▲一人一人の「気遣い」だけでなく、メンバー同士の連携は重要な要素。



松原 有里 まつばら ゆり

業務課 入社1年目

前職、食品会社で製造ラインの仕事をしていて松原。人と接する仕事を志してメンテナンส์メンバーの一員になりました。もうすぐ1年を迎える彼女は、メンバー唯一の女性でありながら全く物怖じせず、安定して仕事に取り組みます。難しい仕事にも嫌な顔せず挑む姿は先輩社員にも一目置かれ、今後の成長にも期待が寄せられています。

そんな松原のモチベーションを支えてくれるのがジャニーズの嵐。特に相葉君が好き



平田 暁志 ひらた さとし

メンテナンス課 入社1年目

「最近顔つきが変わった？」  
沼津エリアのルーキー・平田。

で番組も欠かさず見ているそうです。大好きな嵐にパワーをもらって今日も新たな仕事にチャレンジする松原でした。



▲昨年は京セラドームのコンサートにも行きました！楽しかった～！

前職、健康器具のメンテナンスの仕事に従事していた平田は、今年の5月から当社の仲間入り。体育会系のサッカ―で鍛えられた精神力と真面目さで仕事をどんどん覚え、メンテナンส์唯一の沼津採用のメンバーとして期待されているルーキーです。

前職ほぼ1人でこなす仕事をしていて彼は、チームワークの中で仕事したいと当社を志望。カーテン交換の仕事は思ったよりも厳しく、最初は緊張と疲労の中で頑張っていました。最近では親から「顔つきが変わった」と言われ、前職の時よりもすっかりした顔になって安心してくれたとか。今日も一心不乱に仕事に挑む真面目一徹の平田でした。



# はじめに

～原田よりご挨拶～

こんにちは！キングラン通信編集部の原田です。今年の夏は雨が多かったですね。営業の岡本が毎年手筒花火を上げていますが、今年は直前までどしゃ降りでした。皆さんはプールや外で遊べましたか？

## 創立初めての全員参加の研修



お盆明けの土曜に、正社員・パート社員全員が参加する研修を開催しました。正社員のみでしたら過去もありましたが、40名の全社員が一同に会しての研修は当社始まって以来のこととなります。内容については、後ほどホームケア課の中村が学びを共有してくれていますので、私は全体的な学びをここでお伝えしたいと思います。

本年1月、当社の創始者・原田邦夫が他界しました。先代は高いカリスマ性と指導力で33期に渡って会社を引っ張って参りました。私は2年前、同社を継承しましたが、経験的には私よりも多い先輩社員が多くいます。彼らが迷いなく今後も仕事に打ち込めるようにするにはどうしたら良いかを考えました。

そこで出た結論が「共に学ぶ」ということでした。私はこと営業やマネジメントに関しては前職でも鍛えられてきたものの、本業のノウハウに関してはまだまだです。先代のカリスマを私に期待するメンバーも居るでしょうし、不安を抱えるメンバーもいることでし

よう。彼らと次世代の文化を作っていくためには、会社としての在り方を「共に学ぶ」。そして、共に対話を重ねながら価値観を練り上げていく必要を感じたのです。そこで挙げた本年度の研修テーマが「コミュニケーション」と「マナー」でした。社内外でのコミュニケーション、そして顧客との接点で重要となるマナー。これらは正解があるようでない世界でもあります。答えがないテーマを扱い、ある程度学びながらも、対話をするのでお互いに気づきを得る。講師の方も厳選し、講義よりもワークや話し合い中心の研修のしつらえにしました。

## 素晴らしいメンバーに恵まれた実感

対話を中心にした答えのない研修の結末は、講師の方々も「素晴らしい」と言って頂ける内容となりました。皆が「知っている」とか「分かっている」のではなく、素晴らしい「想い」や「資質」を持っていることを感じました。席次は正社員・パート社員、他部署のメンバーと混ざるようにしましたが、それぞれがしっかりした考え方の下、意見を出していて、彼らの心から出てきたメッセージは私も驚き、感動するものがありました。

コミュニケーション研修・マナー研修通して全体として浮かんできたメッセージは「相手を尊重すること」です。なんてことのない、当たり前の言葉ですが、少ない時間でお互いが対話を重ねてきた結果浮かび上がったものでしたので、講師から教えられて納得するよりも幾分か心の奥底に残り、現場で実践されていくものではないかと思います。

初めての全員参加の研修は、一つのメッセージと、こうした仲間にも恵まれた実感を得る良い機会となりました。

# カーテン事業部便り

～カーテン事業部の出来事、お役立ち情報をお届け～

【お客様の病室より】

## 高校野球

とある老人施設さんにて、カーテン回収に伺ったお部屋の 70 代男性が高校野球を観ていたので、野球のお話をしながら作業をしました。後日、カーテンお戻しの時に同じお部屋に伺いました。ちょうどその日は決勝の日だったのですが、試合を観ていなかったで、「今日は高校野球観ないんですか？」と尋ねると、「野球やってるの？」と急いでテレビを付け、「忘れていたよ、ありがとう」と観戦し始めました。こんなコミュニケーションが出来るのも、カーテン交換でお部屋にお邪魔する醍醐味の一つです。(メンテナンス課・白井)

【ボランティア活動報告】

## ボランティア・ソロデビュー



先日、豊川市の光輝デイサービスさんにて、ソロでギターのボランティアにお伺いしました。Facebook で見つけて頂き、お声掛け頂きました。ギターはデュオの経験しか無かったですが、腕の無い所はご了承頂いた上でのソロデビュー。「ギターに乗せて歌う会」と称し、ギターを伴奏にご利用者の皆さんと歌いました。曲は「夏の思い出」に始まり、「青山脈」「旅姿三人男」等、皆さんにとってお馴

染みの曲を中心に演奏。最後は「見上げてごらん夜の星を」を皆さんと大熱唱し、アンコールを 2 回も頂戴しました。ご利用者の皆さんは、曲中も曲の間も励ましの声をたくさん頂き、私のつたないギター伴奏による会も無事終了致しました。一人でやってみて、喜び・達成感もひとしおですが、多くの学びや、今後の課題も発見しました。今後ボランティアを増やしていくために引き続き模索していきたいと思います。光輝デイサービスの皆さん、ありがとうございました！！

## カーテン事業部 今月の Good & New



夏休み、伊豆に二泊三日旅行に行きました。雨は降らなかったですが寒くて泳げなかった…(営業・岡本)



娘のお食い初めをしました。皆に祝ってもらって良かったです。(営業・坂田)



実家に帰って飼いはじめた猫と遊びました。娘は猫に全く見向きもしなかったです。(営業・夏目)



実家に子供を連れて行きました。楽しんで遊んでくれて良かったです。(営業・栗田)



週末に映画『永遠のゼロ』を借りて見ました。いい映画でした。(営業・岩崎)



埼玉西武ドームでプロレス G1 クライマックスに行きました。初めて生で見て興奮しました。(営業・福田)



久々に豊橋中央図書館に行きました。本の予約がネットで出来るなど、進化を発見！(サポート・鈴木)



朝から友達とテニスをしました。その後コロナの湯でゆっくりしました。(サポート・石田)

# 福祉用具よもやま話

～在宅介護を支える福祉用具事業部より～



【中村の今月の福祉用具マメ知識番外編】

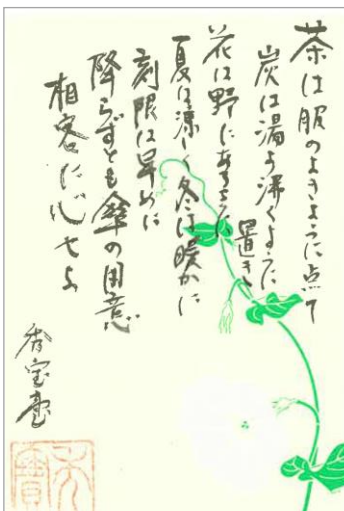
## 「利休七則」

こんにちは！ホームケア課の中村です。8月は子供とプールへ行きて、子供の泳ぎの練習をしつつ自分も結構泳ぎました。子供のスイミングスクールでマスターズ大会の募集をしていたので、今度出場してみようかなと思っています。

今月は8月下旬に社内で行われた研修についてお伝えしたいと思います。会社近くの商工会議所にて午前はコミュニケーション研修、午後にマナー研修という内容でした。

コミュニケーション研修では、相手に自分の意思を伝える事を、グループワーク形式で事例や意見を出しながら全体で情報を共有。

午後のマナー研修では名刺交換やお茶の出し方等、普段自分達がやっている事を改めて指導して頂きました。マナー研修の中で「おもてなし」についての講義があり、ディズニーに代表されるように、お金をかけなくても感動を与えられる工夫があることをご紹介したいと思います。



左は、講師の先生からいただいた手書きの絵葉書、千利休の「利休七則」です。千利休が「一期一会」の場を作る為に、7つの心遣いとして奨めたのがこの「利休七則」だそうです。この七つの言葉の意味は…

①『茶は服のよきように点て』（お茶を飲む人に丁度良い加減で）

→相手の立場を考えて行動する

②『炭は湯の沸くように置き』（よく火がおきて長持ちする炭の置き方が求められる）

→いろいろな場面に対応できるようにしっかりと準備が大事

③『花は野にあるように』（その花が咲いていた状態を感じさせるように生ける）

→本質を知り簡潔に表現する

④『夏は涼しく冬は暖かに』

→相手が過ごし易いように、思いやりを工夫して万事を遇する心がけが必要

⑤『刻限は早めに』（早めの時間感覚を持て）

→時間に余裕をもてば心も余裕ができ、焦りを防止してくれて平常心でゆとりをもって人と接することが出来る

⑥『降らずとも傘の用意』

→あらゆる場面に不測の事態が起きてもあわてないように万全の準備をしておく

⑦『相客に心せよ』（その場にいるお互いが相手の事を尊重し合い心を配りあう事）

→個への気配りだけでなく全体を見渡した配慮をする

かなり要約してしまいましたがそれぞれが奥の深い言葉ですよね。七則を読みかえしてみたら感覚的に意識していたことや全くできていなかったことがありました。仕事に限らず日常生活にも意識していければと思っています。皆さんも『利休七則』、1つからでも一緒に取り組んでみませんか？

## 福祉用具事業部 今月の Good & New



姪っ子と初マックにいきました。テレビCMみたいにポテトを食べさせてくれました（笑）。（田村）



姪っ子と子供をプールに連れて行きました。自分も結構泳いで筋肉痛に苦しんでいます。（中村）

# ヒト/コトでヒトコト

～弱者の採用マーケティング～

改めまして編集部の原田です。このコーナーは、「人材」のことに関して情報発信をしていく 1 ページです。人材採用や人材育成にお役立て頂ければ幸いです。

## 大手と中小の採用手法は全く違う

いよいよ、今秋よりスタート予定の「共感型リクルーティング入門講座」。目下準備中です。本日は、この入門講座でノウハウを発信する私のバックグラウンドと立ち位置をお伝えしたいと思います。私は、前職で中小企業を対象にした採用活動のお手伝いを数年間、700 案件に渡り携わって参りました。社内では「大手」と「中小」で部署が分かれており、私は後者でした。

入社当初苦労したのは、「大手」と「中小」での採用力の違いでした。正直、「大手」は求人を出すだけで多くの人が集まってきます。名前が表にただけで注目が集まるし、採用のための予算も多かったので、輪をかけて露出ができ、応募を集めやすい状況がありました。しかし、私の担当する中小企業は名前を聞いても知らない会社が多く、「出せば来る」という状況ではありませんでした。

## 差別化にも限界

また、苦労したのが「待遇競争」でした。企業規模の違いの次に、待遇での競争も中小企業は有利でない会社が比較的多くなります。わざわざ給与・待遇を少し上げてチャレンジすることもありましたが、その場合も給与・待遇競争をすると、最初は雇用を増やせても、いずれ抜かれてしまい、人の流出が起きてしまう場面もありました。社内の限られた資源で採用競争をするのにも限界がありました。

## 「競争」ではなく「共感」

そんな中小企業を救う採用ノウハウこそが「共感」でした。会社の事を分かってもらい、仕事の事を分かってもらい、「共感」して頂く。そのことで素晴らしい人材に出会い、長く働いて頂く事が出来た例は数多くあります。中小企業は背伸びするよりもありのままを伝え、求職者が「フィット」する仕事を提供していった方がよいと考えております。

ただし、やみくもに会社・仕事の事を伝えても上手くはいかず、伝える前の前提としての「どんな人が欲しいか？」というターゲット設定があって初めて機能します。

## 中小の採用マーケティングを試したい

「共感型リクルーティング」はそんな弱者のためのマーケティング戦略でした。私はこの手法を、私たちのメインのお客様でもあります、医療・福祉施設を中心にお伝えし、業界の人材採用難の解決に少しでもお力になればと考えております。しかし、まだ業界では認知度の低いノウハウで実効性も証明されていません。ですから、まずは業界の皆さんとの対話を通じて、このノウハウを試しながらやっていきたい。そう考え、今秋より「入門講座」を三河地区、静岡県の西・中・東部の 4 か所で行っていききたいと思います。

当日は講座の他、参加頂いた皆様との談話の時間を多く取る予定です。是非皆様にご参加頂き、皆さんのお声を聞かせて頂ければ幸いです。この活動を通して、業界の大きな課題の一つである「人材」の問題を解決し、先代も目指していた「何でも相談できる」キングラン東海を目指していきたい所存です。

# キングラン徒然広場

～社員の超プライベート連載コーナー～



【白井隆仁の『食べてみた』】

## 山賊焼き



長野県松本市名物の山賊焼きを食べてきました。伺ったのは、山賊焼きで有名な、松本市の「河昌」。山賊焼きの由来は、山賊は人の物を取り上げる。『取り上げる』→『鶏揚げる』からきているそうです。味はニンニクが効いたタレにつけて揚げてあり、とってもジューシーでおいしかったです。みなさんも是非、山賊焼き食べてみてください！



【ダボさんのゴルフ奮闘記】

## OB5連発！？



久しぶりの投稿となります。ここのところ天気がはっきりせず、雨だと気分が乗らないので少しお休みしていました。

8月の第4日曜日に地元のゴルフ場で行われたゴルフコンペに参加しました。当日は雨の予報はありませんでしたが時折晴れ間がのぞく、薄曇りの中のゴルフとなりました。

同伴者はいつものメンバーでしたので、何の緊張もなくラウンドすることができました。いつものゴルフ場で、いつもと同じ仲間で、いつもと同じティグラウンドでのティショット。1番ロング1打目ティショット。ちょっと当たりが薄く入り、トップ気味のボールがフェアウェイ左サイドへ。第2打第3打チョロ。4打目でグリーン近くまで運んだものの、5打目がトップでグリーンオーバー。ようやく6打目でオンし、2パットのトリプルスタート。開始早々、嫌な予感が頭をよぎる。

2番ショート。ここはいつも左に巻いてしまいOBになるので、思い切り右を向いてのティショットを打つ。しかししかし、それでもボールは右から左へ大きく曲がり、OB杭方向へ。暫定球を打ち、駆け足でボール確認。助かった。2打目はバンカー越えのため、ピンを大きくオーバー。結局3パットでダボ。3番から7番まではパー・ダボ・ボギー・ボギー・ボギーと5オーバーで何とか落ち着いたと思った途端…。

8番ミドル。ここは広いので、思い切り打ってもOBにはならないようなホールでの第1打、左OB。第2打、左OB。第3打、左OB。場の空気が次第に変わっていく。第4打、右OB。第5打、右OB。シーンと静まり返った第6打、チョロでセーフ。ようやく空気が緩み始めたものの、なんだかんだでOBダボで16打。9番もパッとせずのトリプルで、前半は61打。トホホ…

後半に入っの10番ミドル。ティショットは右のフェアウェイバンカー、2打目も他のバンカーへと渡り歩き、4オン2パットのダボスタート。11番12番とボギーで収め、13番ミドルはティショットを左に曲げ、木の根元へ。2打目は出すだけのつもりが飛びすぎ、右のラフにズッポリ。ラフに負けた3打

目はほとんど飛ばずに 30 ヤード先のフェアウェイ。結局 4 オン 3 パットのトリプル。残り 5 ホールはダボとボギーのオンパレードで、上がってみれば後半 50 打で、合計 111 打。

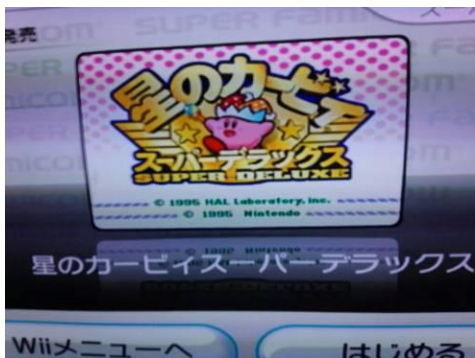
ダボゴルフにも届きませんでした。仲間はいいもので、その後の懇親会では、5 連発 OB を肴に皆で大笑い。後に引きずることはありません。でもこんな宴会向けのゴルフでいいのでしょうか。向上心のかけるもないゴルフじゃあ、今後も上達は見込めませんよねえ。



【ゲーマー包原、今月のプレイ報告】

### 星のカービィ スーパーデラックス

メンテナンスの包原です。今回紹介するのは 1996 年にスーパーファミコンで発売された『星のカービィ スーパーデラックス』です。



敵を吸い込み、飲み込む事で、その敵が使う能力をコピー出来るカービィですが、この「スーパーデラックス」では、ヘルパーと呼ばれる仲間キャラを生み出す事も出来、2 人同時プレイも可能となっています。

敵から受けたダメージは、道に落ちている食べ物を食べる事で回復させる事が出来、食べた直後にヘルパーに重なると、口移しによりヘルパーに食べ物を分け与えるという、子供には見せられないカービィの姿を見る事が出来ます。

様々な能力が登場するこのゲーム、Wii や WiiU でダウンロードすれば、約 800 円で今でも遊べます。また、完全制覇すると、最後に格闘王への道と呼ばれる、隠しゲームが遊べ、これまで倒した全てのボス敵と、順番に

戦って行く事になります！

皆さんも、仕事から帰った後の息抜きに、カービィをプレイし、彼の可愛さに癒されてみては如何でしょうか？♪



【河合写真館】

### 河合家の夏休み

#### 妻の実家で「すいか割り」

秋の訪れを感じる季節になりましたね。こんにちは、メンテナンス課の河合です。

私の妻の実家は長野県と静岡県に接する県境に近い愛知県北設楽郡豊根村です。茶臼山（ちゃうすやま）と聞けば馴染みのある方もいると思います。冬は雪でなかなか伺うことができないのですが、避暑地として豊川から 2 時間半かけて行ってきました。

実家には妻の弟さんの子供 3 人だけで 5 日間泊りで遊びに来ていました。山の中なので、いい意味で言えば自然だらけ、何もありません。しかし小学生～幼稚園児の子供にとっては普段できない事だらけで、はしゃいでいて、ものすごく元気！一日中相手をさせられました。中でも一番喜んだのはスイカ割り。前日にスイカ割りの予告をしたら翌朝から「スイカ割り～！」と催促の嵐。少し天気が悪かったので、できたのはお昼過ぎでした。3 人に対してスイカ 1 つ。簡単に割られてしまったら即終了、追加でスイカを買いに行かされる可能性も。そこで当たったとしてもヒビが入る程度で少しでも長く楽しめるよう、叩き棒を細いものにして 3 人で順番にやりました。



三巡した頃にはスイカもヒビだらけで悲鳴を上げていたので終了。子供って容赦ないですね。ポコポコになったスイカを皆で頂きました。

## 海水魚飼育半年目

半年前の3月から突然始めた海水魚飼育。ネットで調べて30cm水槽を立ち上げ、調子に乗って45cm水槽を追加。水槽の大きさが変わる毎に飼育に必要な水の濾過装置も外掛けフィルターから外部フィルターへシステムアップしてきましたが、この初夏の暑さで水温が上昇、水温25度前後を好む海水魚は30度に耐えられず崩壊してしまいました（泣）（設定水温に水を冷やすクーラーなるものがあるのですが、値段が高くて…。）

こうなったら水温が下がる秋を目指して、1からやり直そうということで今回はシステムアップ。60cmオーバーフロー水槽に挑戦してみました。

### 【今までの水槽】



### 【新たに設置した水槽】



今までは外部式フィルター（濾過器）を使用していました。



水を汲み上げるポンプと水をきれいにする濾過槽が一体化したもので、下から吸い上げた水が中のフィルターを通して上のホースからまた水槽に戻る仕組みで、それを水槽とホースで繋いで使用します。モーターの音もなくとても静かな装置ですが、濾過部が小さいのでこまめなメンテナンスが必要です。

### 【オーバーフロー水槽】



水槽の中をパイプが通っていて、パイプの上部から、あふれた水が水槽の下のキャビネ

ット内に設置した濾過槽に水が落ち、濾材で濾過された水をポンプで水槽に戻すという仕組みです。濾過槽が大きく、濾材も多く入れられるので濾過能力が高いのですが、水が落ちる（吸い込まれる）音とポンプのモーター音がうるさいです。これで水温が下がれば魚を入れていきたいと思います。



【営業・福田のダイエット日記】

**ダイエット、始めます！**

こんにちは！沼津営業所の福田です。この度編集長にお願いをして連載の枠を頂くこととなりました。その連載の内容とは、『福田のダイエット日記』です。というのもここ最近愛知の本社へ行った時や地元の友達と遊んだ時よくこんな言葉を耳にするようになってきました。「あれ、太った？」と…。

沼津営業所に赴任して4年程ですが、赴任前は60kg弱だった体重が今ではなんと…



10kg以上太っています…。このままじゃいかんと思い連載をさせていただくこととなりました。とりあえずの目標は「年内に65kgまで落とす」です。人生初めてのダイエット、5kg痩せることがどのようなものか全くわかりません。本当に痩せることは可能なのか…。

今回は導入となりますが、来月からは途中経過を報告していきます。



【釣りバカ俊ちゃんのNo Fish, No Life】

**雷の中で**

今月の釣果です。7月後半に浜名湖ポート

にて出勤し、一日やってシーバス1匹のみ…



8月に入り台風やらお盆やらで、釣りに行けていませんでした。ようやく行けそうな日曜日。雨が降りそうな予報。朝雨が降ってなかったら行くと叔父と約束し、朝4時ちょい前に起床。窓を開けると雨は降ってない曇り空何とかもちそうな感じだったので、5時集合目指して出発。

サーフに着くと叔父も同じくらいで到着。車から降り明るくなってきた空を二人で眺めると、沖の方で雷が光っていました。二人ともビビりなので「雷が光ったけど音はしない」と言いながらも、「音がしなければ落ちないだろう」とか「命がけで釣りするのも…」と内心ビクビク。なかなか釣りの準備が出来ずにはいましたが、空には暗い雲の部分と明るい部分があるので、大丈夫だろうとやっと釣りをする事に。砂浜を良さそうなポイントを探しながら歩きました。しかしまだ怖いし、叔父は私より背が低い。雷が落ちるとしたら私の方だな、と思い背中を曲げて歩きました。いつもなら竿を立てて、ルアーを動かしたいのですが、雷が怖くてサイドでの動きでルアーにアクション。これでいいのかと、空を見ながらなので、全然集中出来ない。

最初はマゴチ狙いでワームを投げていましたが、マゴチがいないのか、ワームの色が悪いのか、集中力がなくて、全く当たりのないまま西へ移動をしながらランガン（釣りまわる）。辺りも気付けばすっかり明るい。雷を意識し過ぎていたので、これではいかんと自分に言い聞かせ、いつものように集中しルアーを投げながら海を観察する事にしました。

すると水面がワサワサしている所が。明らかに他とは違う。でもボイル（魚が水面で跳ね回る状態）がない。ベイト（小魚）の気配がしたので、ワームからジグに付け替えしゃくりながら早巻きし、水面がワサワサした所を通過。ガツンとのった！結構引くので青物だとわかりました。そしてリールを巻きながら、バラさないように 50m くらい離れた叔父に手を挙げてアピール。なかなか気付かない。あれよあれよと魚は波打ち際。そこで叔父に最後のアピール。手を振った瞬間、ばれて魚はバイバイ。叔父は気付いてこっちに来ました。叔父に状況を説明し、叔父もジグに付け替え隣で投げ始める。水面のワサワサがちょっと離れたのでジグを 20g から 30g のピンクに変え、投げるとヒット！さっきより小さめだけど、これも良く走り引がすごい。大事にランディングし砂浜にあげると、ショゴでした。カンパチの幼魚なので結構美味しいらしいです。20cm ちょっと小さい為リリース。地合いを逃しては行けないので、すぐさまキャスト。何投か投げるが当たりがない。水面のワサワサもなくなった気がする。そこで早巻きから、3 回しゃくってはフォールを繰り返すとフォール中にヒット。サイズはさっきと同じくらい。今はこのパターンだと叔父に伝え、すぐ叔父もヒット。私も連続ヒット。楽しい、久々。すっかり雷を忘れる。しかしこれだけ釣れると嬉しい悲鳴。手が痛い。小さいけど、良く走るショゴは疲れる。地合いの間に6匹くらい釣っただけなのに右手にはかなりの乳酸がたまっていました。時刻は8時をまわり地合いが終わったので撤収しました。今後のサーフに期待大です。



来月は浜名湖ボートリベンジマッチと溪流今季最後の戦いに行ってみます。



【白井隆仁の、今月の社内行事】

## 大掃除



夏季休暇前に毎年恒例の大掃除をしました。当社では夏と冬の、年に二回、大掃除をしています。日頃の感謝を込めて、一生懸命掃除をしました。会社がキレイになると、気持ちよく仕事もできますね。この日はあいにくの大雨でしたが、みんなの力を合わせて、無事に大掃除を終えることができました。半年後の冬の大掃除まで、このキレイさを持続させたいと思います。



【今月のマンガ日記（不定期）】

## 黒子のバスケ



今回紹介するマンガは、週間少年ジャンプで連載中の『黒子のバスケ』です。強豪で知られる帝光中学校に、かつて 10 年に 1 人と言われる天才が、5 人同時に在籍していた時代があり、主人公はそこで 6 人目の補欠だった、黒子テツヤという地味な少年です。彼が高校 1 年生になり、かつてのチームメイトが在籍する他高校と対決しながら、全国制覇を目指して行くという内容です。

かつての5人は、キセキの世代と呼ばれ、どの選手も、アニメでは主に女性に絶大な人気を誇っています。そんな彼らの超能力じみた能力の一部を紹介します。

●緑間…絶対に外さないシューターで、自陣ゴール付近からでも、超長距離 3P を決められる能力を持つ。

●紫原…約 2m の身長ながら、動きも素早いという選手。彼がオフェンス参加した時は、誰も止められない。

●赤司…エンペラーアイと呼ばれる特殊な目を持ち、彼の前にはどんなフェイントも効かない。



20～30 代の人にとって一番有名なバスケ漫画は、スラムダンクを思い浮かべる方が多いかと思いますが、そんな自分を含め、スラムダンク世代の人でも十分楽しめる内容となっています。興味ある方はぜひ♪

※先月のコーナー乗っ取りみたいな感じではなく普通のマンガ日記として投稿してみました（笑）



【今月のいいね！画像】

皆でいいね！画像



縫製工場 菅 千恵子

今月のななちゃん

友達と盆踊りに行きましたよ～。



【会長の遺産】

「楽」は発想の原点

## 仕事も遊びも全力で



写真は 1992 年の北陸の社員旅行の様子。旅行好きであった先代は以来、毎年全員参加の社員旅行を企画します。そこには、「楽しむ時は徹底的に楽しむ」ことで、仕事に良い発想が生まれて来るという想いがありました。お金をそんなに掛けなくても、仲間と旅行という媒介を通して絆を深め、そして仕事の発想にも役立つのが当社の「社員旅行」でした。

## 今もなお、正社員全員参加の社員旅行



社員が少ない時代は身内・家族で行っていた旅行も、近年は 20 名を超える大所帯での社員旅行となりました。未だ続く「全員参加」の文化も綿々と引き継がれています。ただ楽しむだけでなく、社員の絆を深めたり、仕事の発想力を鍛えたり、様々な意味合いが込められ、企画される社員旅行。今年は沖縄に行く予定。今から皆楽しみにしているようです。

# みんなの投稿広場

～お客様と社員みんなに聞いてみました～

【夏のイベント報告】

## 夏休み、どこに行きましたか？

夏休みが終わり、子供たちの学校も始まりました。皆さんはどこかお出かけされましたか？我が社のメンバーの夏休みをレポートします。どうやら、雨ばかりだったようで…



**メンテナンス課 松原 有里**  
**岐阜へ1泊旅行**



お盆休みは、岐阜に1泊旅行してきました。世界遺産の白川郷に行ったり、高山の古い町並みを歩いたり、飛騨牛を食べたり、岐阜を満喫してきました。でも、両日とも雨だったのが残念でした。



**縫製工場 菅 千恵子**  
**ハウステンボス**

今年の夏休みは、博多と長崎ハウステンボスに行ってきました。雨でしたが楽しかったです～。



**メンテナンス課 白井 隆仁**  
**長野キャンプ**



お盆休みに、草野球のメンバー7人でキャンプに行きました。バンガローの2段ベッド



でテンションが上がり、大自然でのBBQは最高でした。しかし、あいにくの大雨で、予定していた釣りや、キャッチボール、自然散策等ができず残念でした。釣った魚をBBQで焼いて食べるのを、楽しみにしていたのですが…。

でも、そのぶん仲間たちとたくさん語り合うことができ、良い機会になりました。



**メンテナンス課 古川 達也**  
**恐竜化石発掘体験**



夏休みに、現在恐竜ブーム真っ最中の長男と福井県勝山市に旅行へ行きました。目的は世界3大恐竜博物館の1つ、福井県立恐竜博物館です。ここは恐竜の化石が発掘されたことで有名で、フクイサウルスやフクイリュウ等この地で発掘されたことで名付けられた恐竜もいるそうです。博物館内にはたくさんの恐竜骨格の展示物や荒々しく動く本物同然の模型があり迫力満点でした。博物館見学の後は実際に化石発掘している側で恐竜化石発掘体験をし、充実した旅行となりました。

写真は恐竜化石発掘体験のもの。恐竜の化石を発掘し持ち帰る気満々でしたが、植物の化石しか見つからず大変残念がっていました。



**メンテナンス課 松原 有里**  
**「喫茶かわぐち」のかき氷**



愛知県田原市にある「喫茶かわぐち」というお店のかき氷がとても美味しかったです！種類も豊富で、氷もふわっふわでした。メニュー表には「日本で2番目に美味しい」と書いてあります（笑）。かき氷は一年中やっているみたいです。

#### 【秋のお勧めコーナー】

#### 秋のお勧めスポット

まだまだ暑い日が続きますが、先月号に引き続き秋のお勧めスポットをご紹介しますと思います。この秋大人も子供も遊べる、そんなスポットを社員に聞いてみました！



**メンテナンス課 松原 有里**  
**ユニバーサルスタジオジャパン**



秋のお勧めスポットは、ユニバーサルスタジオジャパンで、ハロウィンのイベントがとても面白いです！夜になるとパーク内にゾンビが沢山現れ、アトラクションもホラーバージョンに変わります。異様な雰囲気、あちこちから悲鳴が聞こえてきます（笑）。スリル満点で恐いですが、とても楽しいです！



**代表取締役社長 原田 浩史**  
**公園にいいシーズン**



この夏、子供と公園に行こうかと思っても、親子でへばってしまい、どうしても屋内か水遊びになってしまいました（軟弱…）。これから秋のシーズンになると、子供と公園遊びが断然増えて来ます。昨年も行っていたのが安城市にある『堀内公園』でした。息子が電車好きで、名鉄西尾線で駅からすぐのところにるので一石二鳥でした。

堀内公園には、観覧車や乗り物などありますが、公園の遊具や無料のソリも子供が楽しく遊べます。ふわふわドームでぴょんぴょん飛び跳ねるのも子供にはツボで、涼しい季節にもう一度行きたい公園です。

【緊急企画】

## 我が家の妖怪ウォッチ事情



「突然ですが、緊急企画ですニャ！！」というわけで、空前のブームとなっております、『妖怪ウォッチ』。その波はキングラン東海のメンバーの子供たちにも訪れている模様。私（原田）の息子も相当やられています、妖怪メダルとかよく分らない…こうなったら皆で情報共有したい！ということでしばらく、妖怪ウォッチを特集したいと思います。

### そもそも妖怪ウォッチって何？

これだけブームでも、社内でも内容を知っている人は半分ぐらい。どうやら子供がハマっている家庭以外では全く知らない人が多いようです。そんな人のためにご説明します。



妖怪ウォッチは、昨年夏にニンテンドー3DS専用ソフトとして発売されたゲームで、同時にコミックやアニメなど、多角的にメディア展開されたそうです。

ある日、妖怪執事ウィスパーと出会い、妖怪を見ることの出来る「妖怪ウォッチ」を手に入れた主人公の少年が、町に出没する妖怪と友達になり、彼らと協力しながら町の人々の悩みや問題を解決するというストーリー。友達になった妖怪は「妖怪メダル」となり、メダルを妖怪ウォッチにセットすることで、妖怪を呼び出すことが出来るのだそうです。

この妖怪メダル等のグッズのコレクションが流行し、同時に妖怪ウォッチも行列が出来る程のグッズとして社会現象となっています。



岡本・中村

社内情報網で妖怪メダル GET



昼食時等に立ち寄ったコンビニで偶然レジにて妖怪メダルを発見することがあります。岡本、中村は回っているエリアが重複している為お互いに見つけたらメールで「今、〇〇のコンビニで売ってた！あと〇枚残ってる！」というような情報をやり取りしています。メダルは手に入りにくいですが、カードはいつでも買えるのでカードも集めています。

### ★皆様からのご便り、募集中★

キングラン通信では、お読み頂いている皆様からもご便りを募集しています。次号に向けての募集内容は下記の通りです。

#### ■9月のイベント報告

夏休み後に行ってみた場所・グルメを募集

#### ■お勧め紅葉スポット

家族や友達と行ける紅葉スポットを募集

#### ■我が家の妖怪ウォッチ事情

妖怪ウォッチ情報・イベントを募集

#### ■その他、キングラン通信へのご意見・ご感想

同封の投稿用紙にご記入の上、FAXにて投稿下さい。メールでの受付もしております。

【今月の”実践”したくなる一冊】

## 周囲に左右されない確固たる自分を作る

このコーナーでは、ビジネス・組織運営に役立ち、“実践”したくなるノウハウが満載の書籍をご紹介します。



### 『ビジョントリガー』

松田 友一（著）

すばる舎

2009年5月21日 発行

## 営業の本質を教えてくれた師

私は前職、大手広告会社の営業をしていました。しかし新卒で入社したシステム会社からの転職でまさに「畑違い」。営業のエリートがひしめく中、初めての営業に戸惑う日々が続きました。そんな時に私に営業の「本質」を教えてくれたのが、今回ご紹介する一冊『ビジョントリガー』の著者・松田友一氏です。

彼は前職の大手自動車販売会社で販売台数のギネス記録を持っていた方で、その資質を買われて外資系の研修会社に入社。講師としても数々の記録を出し、現在は独立して自身で研修会社を運営されています。私は知り合いの紹介でその研修を受講し、営業の本質に始まり、仕事や人生に関して様々なことを学び、営業時代には私自身多くの賞を受賞することが出来た経緯があります。

## 自信のモチベーションを発揮し続ける源泉

中でも本書は、仕事全般に活かせる「ビジョントリガー」について触れた一冊。逆境に負けずに人生を前向きに生きる、目標達成をしていく、そのための心の原動力を創り出すための様々なノウハウが詰まっています。本来は研修で数日間かけて体験するワークを、本書の中で簡単に紹介しており、それらをやってみただけでも十分にヒントが得られるようになっていると思います。

よく「誰かに負けたくない」等のモチベーションで仕事に励むことがありますが、実はこのモチベーションは対象がなくなった瞬間に機能しなくなります。何かとの比較ではなく、自分自身がどう生きるかという、周囲に左右されない目的を見つける必要があります。そしてそれは短期間で見つかる類のものではなく、経験と共に研ぎ澄ましていかなければならないそうです。私自身、まだまだ勉強中ですが、以前よりも周囲に左右されず、自分の進むべき道を自分で選び、進めるようになってきました。今では中古のみの販売ですが、モチベーションや周囲に左右されない自分作りに興味のある方にお勧めの一冊です。

## 編集後記

最近「キングラン通信を作るの、大変じゃないですか？」という質問をよく頂きます。かなりのページ数なので、実際作業は大変です。ですが、本誌の半分以上は会社のメンバーの投稿で出来ているので、自分が書く部分はそれほど多くないのです。また、最近お読み頂く皆様から温かい励ましや期待のお声も頂戴するので、それらが原動力で毎月の編集作業を乗り越えられています。本誌を支えてくれる社内のメンバーや、温かいお声を頂くお客様に背中を押され、大変ですがワクワクしながら今日も編集をしています♪

キングラン通信編集部

原田 浩史



## <発行>



キングラン東海株式会社

【本社】 〒442-0811 愛知県豊川市馬場町薬師 75 番地

TEL : 0533-89-4545 / FAX : 0533-89-2282

【沼津営業所】 〒411-0824 静岡県三島市長伏 83-3

コーポラス杉山V 1-A

TEL : 055-984-3636 / FAX 055-984-3637

【ホームページ】 <http://www.kingrun-tokai.co.jp/>